

2025年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	☒ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ 中国文化論 ）
出題の意図	「選択A」は中国思想分野に関する問題である。 「問題一」は研究に必要な中国思想、日本漢学に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では漢文を訓読する力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。 「選択B」は中国語学・中国文学に関する問題である。 「問題一」は研究に必要な言語学、中国語学史、中国文学史に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では現代中国語の読解力および日本語の表現力を、「問題三」では広義の古漢語の読解力をはかることを意図している。

2025年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 中国文化論 全6枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 6枚、解答用紙 3枚を配付する。

主として中国思想分野の修学を希望する者は【選択A】（1枚目～3枚目）を、
主として中国語学文学分野の修学を希望する者は【選択B】（4枚目～6枚目）を、
解答すること。

【選択A】

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から五項目を選び説明せよ。

『莊子』齊物論

百家争鸣

説卦傳

『漢書』藝文志

王弼

三蘇

『近思録』

古文辞学派

問題二 次の文章をすべて書き下せ。

或人難曰、人中之有老彭、猶木中之有松柏。稟之自然。何可學得乎。抱朴子曰、夫陶冶造化、莫靈於人。故達其淺者、則能役用萬物、得其深者、則能長生久視。知上藥之延年、故服其藥以求仙。知龜鶴之遐壽、故效其道引以增年。且夫松柏枝葉、與衆木則別。龜鶴體貌、與衆蟲則殊。至於彭老猶是人耳。非異類而壽獨長者、由於得道、非自然也。衆木不能法松柏、諸蟲不能學龜鶴、是以短折耳。人有明哲、能修彭老之道、則可與之同功矣。若謂世無仙人乎、然前哲所記、近將千人、皆有姓字、及有施爲本末、非虛言也。若謂彼皆特稟異氣、然其相傳皆有師奉服食、非生知也。若道術不可學得、則變易形貌、吞刀吐火、坐在立亡、興雲起霧、召致蟲蛇、合聚魚鱉、三十六石立化爲水、消玉爲粉、潰金爲漿、入淵不沾、蹴刃不傷、幻化之事、九百有餘。按而行之、無不皆效。何爲獨不肯信仙之可得乎。

〔『抱朴子』對俗〕

問題三 次の文章をすべて日本語に訳せ。

＊ 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することができませんので、
下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 何晋『《戦国策》研究』（北京大學出版社、2001年）38頁

〔選択B〕

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から四項目を選び説明せよ。

- （1）『水滸伝』
- （2）陸游
- （3）辞賦
- （4）平水韻
- （5）文芸講話
- （6）『鶯鶯伝』
- （7）田漢
- （8）尖音団音

問題二 次の文をすべて日本語に訳せ。

＊ 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することができませんので、
下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典

洪深「導言」『中国新文学大系』戯劇集（上海良友圖書印刷公司、1935年）1～2頁

問題三 次の文をすべて書き下し文と日本語訳にせよ。

＊ 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することができませんので、
下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典

『搜神後記』（文淵閣『四庫全書』本）第九卷、1葉a～2葉b